

南アメリカ・オセアニア 州

名前

- 問1 オーストラリアにおいて、1970年代まで続けられていた、ヨーロッパ系以外の移民を制限することで白人中心の社会を維持しようとした政策を何といいますか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. アパルトヘイト 2. 同化政策 3. 多文化主義 4. 白豪主義
- 問2 南アメリカ大陸のペルーなどを含むアンデス山脈の周辺地域は、ある作物の原産地として知られています。この地域で古くから多様な種類が栽培され、現在も人々の生活に欠かせない主食となっている作物を次の中から選びなさい。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
1. 小麦 2. とうもろこし 3. ジャガイモ 4. 米
- 問3 オーストラリアから日本への輸出額において、液化天然ガスや石炭、鉄鉱石が上位を占め、これら3品目だけで輸出総額の約6割に達している現状について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
1. アラブ諸国からの原油輸入が停止したため、日本はすべてのエネルギー供給をオーストラリアの液化天然ガスに切り替えた。 2. オーストラリアは製造業が未発達であるため、工業製品の代わりに農産物や未加工の資源のみを日本へ輸出している。 3. 日本国内の資源不足を補うため、地理的に近く政治的に安定したオーストラリアからの資源輸入を重視している。 4. 日本とオーストラリアの間には関税が一切存在しないため、重さのある鉄鉱石や石炭の輸送コストが他国より大幅に安い。
- 問4 南アメリカ大陸のペルー付近に位置するアンデス山脈などの標高が高い地域において、人々の生活や産業の特徴を説明したものととして最も適切なものはどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
1. アマゾン川流域の熱帯雨林が広がる環境を活かし、カカオや天然ゴムの生産が盛んに行われている。 2. 標高が高く冷涼な自然環境に適応するため、ジャガイモの栽培やアルパカの放牧が行われている。 3. 標高が低く湿潤な平原地域において、コーヒーのプランテーション栽培が大規模に行われている。 4. パンパと呼ばれる広大な温帯草原において、大規模な牛の放牧や小麦の栽培が行われている。
- 問5 かつてオーストラリアでは白人以外の移民を制限する白豪主義がとられていましたが、現在は多様な文化背景を持つ人々が互いの言語や宗教、習慣を尊重し合いながら共生することを目指しています。このような社会を何と呼びますか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
1. 多文化社会 2. 同化政策社会 3. 国際分業社会 4. 単一文化主義社会
- 問6 世界のエネルギー消費と発電構成に関する説明のうち、ブラジルの発電状況を正しく説明しているものはどれですか。 (2023年 広島県公立入試 類似)
1. かつては水力発電が主流であったが、近年は急激な経済発展に伴い、石炭を利用した火力発電が発電量の8割を超えている 2. 広大な国土を活かした太陽光発電と風力発電が普及した結果、水力発電の割合は10%未満にまで低下している 3. 原子力発電をエネルギー政策の軸に置いており、フランスと並んで世界最高水準の原子力依存度を示している 4. 総発電量の過半数を水力発電が占めており、主要国の中でも再生可能エネルギーの利用比率が極めて高い構造となっている
- 問7 南アメリカ大陸のアマゾン川流域で見られる熱帯雨林気候の特徴について、その背景や状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)
1. 周囲を高い山脈に囲まれた盆地であるため、雲が遮られて降水量が極端に少なく、一年中乾燥した状態が続く。 2. 赤道から離れた中緯度帯に位置するため、四季の変化が明瞭であり、年間を通して降水量が一定に保たれる。 3. 海から吹く季節風の影響を強く受けるため、夏は高温多湿となるが、冬は乾燥して気温が大きく下がる。 4. 赤道付近に位置するため、一年中太陽の光を強く受けて高温となり、上昇気流の影響で多量の雨が降り続ける。
- 問8 オーストラリア、ブラジル、中国、インドという上位四カ国で世界の産出量の多くを占める鉱産資源と、その資源が多く分布する地形的な特徴の組み合わせとして、正しいものはどれですか。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
1. 鉄鉱石 — 浸食が長い期間続き、地震や火山活動がほとんど見られない「安定陸塊」 2. 石炭 — 数億年前の造山運動によって形成され、現在は低くならかな山脈となっている「古期造山帯」 3. 銅鉱 — アンデス山脈のように、プレート沈み込みに伴う火山活動が活発な地域 4. 石油 — 比較的新しい時代の地殻変動によって形成された、険しい山脈が連なる「新期造山帯」
- 問9 オーストラリアの貿易に関する統計において、1960年には約20億ドルであった総輸出額は、2019年には約2726億ドルへと急成長を遂げています。この輸出状況の変化について正しく述べたものはどれですか。 (2024年 長野県公立入試 類似)
1. アジア諸国の経済停滞の影響を受け、2019年の総輸出額は1960年当時よりも大幅に減少している。 2. 1960年に輸出額で1位だった日本に代わり、2019年には中国が輸出額全体の約38%を占める最大の相手国となった。 3. 1960年から2019年にかけて、一貫して日本が輸出額の30%以上を占める最大の貿易相手国としての地位を維持している。 4. かつての宗主国であるイギリスとの経済的結びつきが再び強まり、2019年にはイギリスが日本を抜いて最大の輸出相手国となった。
- 問10 南アメリカ大陸の西岸に位置する国の資源や環境保護の取り組みについて、説明した文章として適切なものはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)
1. アマゾン川流域の熱帯雨林を活用した鉄鉱石の採掘が盛んであり、砂漠化を防ぐための大規模な植林活動が国を挙げて行われている。 2. 世界最大の石油輸出国の一つであり、その収益を利用して沿岸部のサンゴ礁を保護するための国立公園整備を進めている。 3. 希少金属（レアメタル）の輸出が経済の柱であり、近年は農地を拡大するために熱帯雨林を牧草地へ転換する政策をとっている。 4. 世界有数の産出量を誇る銅鉱石が主要な輸出品となっており、環境面ではNGOと協力してペンギンなどの保護に取り組んでいる。
- 問11 日本との貿易において、人口密度が1km²あたり約25人と低く、日本への主な輸出品に「銅鉱、魚介類、木製品」が含まれている南アメリカ大陸の国はどこか。 (2024年 青森県公立入試 類似)
1. オーストラリア 2. チリ 3. ブラジル 4. カナダ
- 問12 オーストラリアのシドニーにおける気温の変化を記した資料では、7月頃に気温が最も低くなり、1月頃に最も高くなるという、日本とは逆の曲線を描いています。このような気温の変化が生じる理由と、シドニーが属する気候区分の組み合わせとして正しいものを選択してください。 (2023年 鳥取県公立入試 類似)
1. 地中海沿岸と同じく夏に雨が降らなくなるため。：地中海性気候 2. 内陸部の広大な砂漠の影響を強く受けるため。：乾燥帯 3. 南半球に位置しており日本と季節が逆転するため。：温暖湿潤気候 4. 赤道付近に位置しており一年中気温が高いため。：熱帯雨林気候